

尊い命のために尽力

人命救助活動協力者に感謝状

7月15日、白石消防署で人命救助に協力した功績をたたえ、高橋利浩さん、高橋司さん、櫻井千登世さん、佐藤博紀さんの4人に佐藤節雄白石消防署長から感謝状が贈られました。5月23日、オフロードバイクで林道ツーリングをしていた高橋さんたち3人が、小原地区で林道脇に倒れている男性を発見し、近くの温泉から通報。現場まで通常車両では行くことができず、温泉に居合わせた本市在住の佐藤さんが現場まで消防隊員と資器材の搬送に協力されました。佐藤さんは「人の命を救うお手伝いできて良かったです」と話してくれました。



▲感謝状を受け取る佐藤さん（手前左）

日本の伝統文化を学ぶ

グリーンリーブス使節団が来白

6月28日から7月5日の8日間、本市の姉妹都市のハーストビル市（オーストラリア）から中高生10人と引率者2人の計12人の使節団（グリーンリーブス使節団）が来白しました。同使節団は、ホームステイをしながら市内中学校への体験入学やこけしの絵付け、日本舞踊、茶道などを通して日本文化を体験しました。日本舞踊体験を終えたニコル・ウォングさんは「日本舞踊はオーストラリアで経験のあるヒップホップダンスと違い、動きがゆっくりでおしとやかな踊り。良い経験になりました」と興奮さめやらぬ表情で話してくれました。



▲日本舞踊を体験するグリーンリーブス使節団の皆さん

伝統の味を伝える

武家屋敷で「笹巻き」の会

6月20日、笹巻き作り体験や試食ができる「笹巻きの会」が武家屋敷で行われました。この催しは、ヘルスメイト白石が笹巻きを後世に伝えようと、平成7年から実施し、平成24年からは白石市文化体育振興財団と共催で実施しています。笹巻きは白石に伝わる伝統的な保存食で、もち米を笹の葉で包んでからい草で縛り、茹で上げたもの。子どもたちの健やかな成長の願いを込めて端午の節句のころに作られてきました。参加者は「去年も笹巻きを作りましたが、今回の方が上手にできました。来年も参加したいです」と笑顔で話していました。



▲笹巻き作り体験をする参加者たち

みんなの命は尊い命

南中学校で命の大切さを学ぶ教室

7月1日、南中学校で「命の大切さを学ぶ教室」が行われました。この教室は、宮城県警察職員が県内の中学校を訪れ、犯罪被害者の生の声を伝えることで次世代を担う中学生たちに命の大切さを伝え、倫理観などの向上を図るもの。この日は同校の全校生徒約50人が受講し、交通事故で子どもを亡くした家族が受ける苦しみや悩みなどを学びました。受講した生徒は「被害者の声を聞くのは初めてで、とてもつらい気持ちになりました。自分の命はたくさんの人たちに支えられている命なんだと気付きました」と真剣な表情で話してくれました。



▲宮城県警の浅野晴哉臨床心理士（中央奥）の話を聞く生徒たち

白石城で将来の夢を宣言！

白川中生徒が白石城で立志式

6月26日、白川中学校の生徒が白石城で立志式を行いました。この式は、昔の成人の儀式「元服」にならって45年前から行われていて、今回の参加者は同校の2年生13人。白石城三階櫓からそれぞれの将来の夢を叫んだ後、これまで育ててくれた家族への感謝の気持ちを述べました。参加した生徒は「自分の夢について考える良い機会になりました」と話してくれました。

保護者代表の大橋勝俊さんは「自分の可能性を信じて努力すれば夢はきっと叶うはずです。頑張ってください」とエールを送っていました。



▲白石城三階櫓から家族への感謝の気持ちを叫ぶ生徒たち

ふるさと白石のために温麺をPR！

鈴木琴葉さんを「白うーめん大使」に委嘱

6月28日、サンモール一番町（仙台市青葉区）で「白石温麺試食会」（奥州白石温麺協同組合主催・吉見光宣代表理事）が行われ、本市出身の女優、鈴木琴葉さんに「白うーめん大使」の委嘱状が交付されました。このイベントは、白石温麺の普及と販売促進を目的に開催。イベントステージで司会を務めた琴葉さんは、現在東京を中心に舞台などの女優活動をしながら、自身のブログで白石温麺の料理写真や食べ方をPR中！委嘱状を交付された琴葉さんは「これからも白石温麺の魅力を全国に伝えていきたいです」と抱負を述べていました。



▲吉見代表理事（左）と固く握手を交わす琴葉さん（右）

100歳おめでとうございます

五十嵐まさいさん松竹梅敬老祝金

7月14日、100歳を迎えた五十嵐まさいさんを風間市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝いました。まさいさんは福岡深谷の出身。戦争で夫を亡くされ、和裁の仕事や食品・雑貨を扱うお店を一人できりもりしながら4人の子を育てました。現在、孫が6人、ひ孫が10人います。現在はグループホームに入所していますが、若いころは、編み物や菊花の鉢栽培を楽しみしていました。好きな食べ物は、刺し身と牛乳。ご家族は長生きの秘訣を「よく体を動かして働いていたことではないか」と話してくれました。



▲まさいさんの長寿を祝うご家族や施設職員と風間市長

伝統芸能をより身近に

第23回白石市伝統芸能フェスティバル

6月27日、「第23回白石市伝統芸能フェスティバル」（白石市伝統芸能振興会主催）が古典芸能伝承の館碧水園で行われました。この催しは、市民の皆さんが伝統芸能に触れ親しむことでその魅力をより身近に感じてもらうと、毎年開催されています。

この日は、碧水園で活動する7団体71人が出演し、日ごろ練習している日本舞踊や謡、仕舞、神楽、箏曲などを披露しました。来場者は「初めて碧水園にきましたが、立派な能舞台で驚きました。さまざまな日本の文化を楽しむことができました」と話していました。



▲琴の演奏をする「山田流箏曲鎌田社中白石教室」の皆さん